

行政の窓

「WOODコレクション（モクコレ）令和元年」で 北海道産木材・木製品をPR

道では、利用期を迎えた道内の森林資源の循環利用を推進するため、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、道内外での道産木材・木製品の利用拡大を図ることとしています。取組の一環として、令和元年12月10日（火）から11日（水）にかけて開催された、東京都が主催する木材・木製品の展示商談会「WOODコレクション（モクコレ）令和元年」（以下、モクコレ）に、道産木材製品を製造・販売する23の企業・団体とともに出展しました。

【モクコレ令和元年の概要と北海道ブースの出展内容】

モクコレは、日本全国の木材製品・技術の展示や商談機会を提供するため東京都が主催しているイベントで、今回で5回目の開催となります。

モクコレ令和元年は東京国際展示場（東京ビッグサイト）を会場として、過去最多の41都道府県から合計268の木材関係業者・団体が参加する催しとなりました。

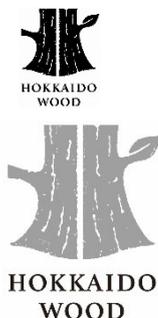
北海道ブースでは、木材産業関係者からなる協議会で作成したHOKKAIDO WOODのロゴマークを前面に打ち出したPRを行うと共に、エリアを構造材・内外装材・家具・クラフト・etc.のカテゴリーごとに分けて展示を行い、道産木材を活用して製作されたさまざまな木製品の魅力を、道外の建築関係業者や商社・流通業者等に対しPRしました。



来場者の様子



HOKKAIDO WOODマークのPR



構造エリアの展示の様子

【出展を終えて】

来場者に対し北海道ブースの印象を尋ねるアンケート調査を行ったところ、北海道をイメージした壁面デザインや、HOKKAIDO WOODマーク、展示品が豊富であることに対して好印象な調査結果となりました。

北海道ブースの出展者への聞き取りでは、「昨年度よりも来場者数は少ないが、昨年度よりも積極的な問い合わせがあった」という意見が複数聞かれました。

【おわりに】

道では、今後も道産木製品の販路拡大を図るため、木材需要の増加が期待される首都圏等のほか、成長の著しいアジア諸国など道外・海外に向け、各種展示イベントへの出展や普及PRに取り組み、道産木材の利用促進を図っていきます。

3月に札幌で開催予定の「道産木材製品の首都圏・海外への販路拡大に向けた研修会」では、モクコレのほか海外での道産木材のPR状況について報告する予定です。

（北海道水産林務部林務局林業木材課利用推進グループ）